

猪風来の現代縄文陶磁器展



華麗なる縄文の美

ジヨウモン・アールヌーヴオー

風が走りゆるる梢、ひそやかにふくらむ花の蕾、ゆっくりと湧き上がり空に昇ってゆく大地の白い息——大自然のリズムは文様となって、現代の縄文の美へと結実します。いにしへの技なる縄文野焼きで数多く創作されてきた猪風来流縄文造形は、新見法曾の地で復活した法曾焼の技法をえて陶磁器の縄文造形作品という新境地に至りました。

青 白の滑らかな磁肌から立ちのぼり、やわらかに渦巻いて花開く縄文スパイラル文様。また山土の陶土による花器オブジェは、緑・赤・黒に融けた釉が地下のマグマのような力強さを醸す。自然の息吹と躍動する生命の清冽なフォルムは、現代に新たな創造の美意識を示しています。この企画展では、猪風来が現代縄文芸術運動の旗手として新しい縄文の美を提示する陶磁器の縄文造形作品40点を展示。どうぞ高覧ください。

2013年 9月3日(火) ~ 11月30日(土)



猪風来美術館
新見市法曾陶芸館
〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

日本最大の縄文土器制作など、縄文野焼き技法の第一人者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】 午前9:30 ~ 午後5:00
【休館日】 月曜日(休日の場合その翌日)
【観覧料】 一般400円 高校生200円
【アクセス】 岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分